

## 和 平成31年3月末の完成を目指す 光園の起工式が行われました

2月9日（金） 古川町下気多

昭和58年に建設された養護老人ホーム和光園を新たに整備し、更なる福祉環境の推進を図る起工式が古川町の同園で行われました。

新しく整備される同園は4階建てで全室個室化、各階に浴室を設けるなど、今まで以上に入所者の人権を尊重し、入所者同士や地域と互いに協力し助け合える環境で、安全・安心に生活できる空間となっています。新和光園は平成31年3月末に完成予定です。

起工式には、同園を運営する社会福祉法人 吉城福祉会や地元関係者、施工業者、行政など約30人が参加し、工事の安全を祈願しました。



起工式の様子（左下）と完成イメージ（右上）

## 芸 飛越交流美術展が10周年 術分野で飛越の交流を深める

2月2日（金） 富山市民プラザ

「第28回富山市美術作家連合会展」と「第10回記念飛越交流美術展」が富山市の富山市民プラザで開かれ、富山県と飛騨市の作家による日本画と洋画、版画、彫刻、工芸、書、写真の7部門に354点（富山310点、飛騨市44点）が展示されました。

2日（金）には同プラザで開会式が行われました。富山市美術作家連合会や飛騨市・富山市関係者など約60人が参加し、テープカットなどが行われました。

式の後には、作品説明会が部門ごとに開かれ、各部門の代表者が見所などを紹介しました。

来年度は飛騨市美術館で行われる予定です。



テープカットを行う都竹市長ら

## 雪 様々な競技で雪と冬を楽しむ 上運動会で地域の交流を深める

2月10日（土） 山之村小中学校

神岡町の山之村小中学校グラウンドで「山之村校区雪上運動会」が行われ、同校の生徒・児童や保育園児、校区の方など約70人が参加しました。

この運動会は、地域住民と学校が一体となり、厳しい冬の寒さと雪を校区民全員で楽しもうと毎年行われています。

この日は、約120センチ雪が積もったグラウンドで、そり競技やスノーフラッグ、クロスカントリー、雪上ラインサッカーなどを行いました。参加者は自然に親しみ、雪を生かしたゲームなどを通して、体力作りと住民同士の交流を楽しみました。



熱戦が繰り広げられたスノーフラッグ

## Y 地域を舞台に33個のプログラムを実施 CK報告会に500人が参加

2月7日（水） 飛騨市文化交流センター

吉城高校の高校生によるYCK（吉高地域キラメキ）プロジェクト報告会が飛騨市文化交流センターで開かれ、同校生徒や市民など約500人が参加しました。

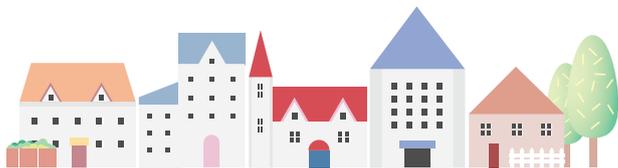
同プロジェクトでは、課題解決能力を身につけた、たくましい人材を目指し、33個のプログラムで地域課題に取り組んできました。

報告会では、プロジェクト統括リーダーの坂下拓夢さんが進行を務め、各プロジェクトの代表が取り組みや感じたことなどを発表しました。

また、同校の鈴木校長先生や都竹市長、布俣県議らによるパネルディスカッションも行われました。



生徒によるプロジェクト発表



## 商 第62回飛騨神岡初金毘羅宵祭 売繁盛と家内安全を祈って

2月24日(土) 神岡町

熱気あふれる冬の夜祭り「第62回飛騨神岡初金毘羅宵祭」が行われ、約4,000人の来場者でにぎわいました。

この祭では、金毘羅様に商売繁盛・家内安全を祈願するため、江戸木遣保存会と手古舞の行列を先頭に、様々な意匠の神輿や山車が列を成し、金毘羅堂のある洞雲寺を目指して、町内を盛大に練り歩きます。

今年市内をはじめ、高山市、富山市から17社中が参加しました。それぞれが神輿などをかつぎながら、町内を練り歩いたり、ステージでパフォーマンスを行ったり、道中で様々なプレゼントをふるまいながら、洞雲寺を目指しました。



町中を練り歩く社中

## ぎ 市内で2カ所目の常設木育広場 ふ木育ひろばの更なる推進を

2月14日(水) 神岡子育て支援センター

神岡町の神岡子育て支援センターで「ぎふ木育ひろば」のお披露目会が開かれ、木育関係者や乳幼児とその保護者ら約40人が参加しました。昨年の古川子育て支援センターを含めて2カ所目の開所となります。

この日は、木育ひろばに常設する飛騨の木材を使って作られたおもちゃの製作関係者からも訪れました。

また、今回のお披露目会には、飛騨神岡高等学校美術部の生徒4人が訪れ、美術部員がペイントしたからくりトレイン「おくひだ1号」の贈呈式が行われ、子どもたちに手渡されました。



木のおもちゃのお披露目の様子

## 百 平坂としさん百歳褒賞 歳おめでとうございます

2月27日(火) 古川町

古川町向町三丁目の平坂としさんが100歳を迎えられました。

都坂市長が「100歳おめでとうございます。平坂さんの元気な姿や笑顔を見ると、こちらが元気をもらえます。これからも元気に過ごしてください」と声をかけながら、お祝いと花束を手渡しました。

平坂さんの趣味は塗り絵や折り紙、小物作りなどで、現在も時間を見つけては作品作りに取り組んでいます。「ここまで長生きできるとは思っていなかった。ひ孫など家族のおかげで毎日が楽しいです」と喜びを教えてくださいました。



賞状を手に記念写真

## 野 市内農家と共同生産開始 菜加工量の拡大へ

2月20日(火) 古川町

イビデン物産飛騨工場で飛騨地域で栽培された野菜を加工する生産ラインの見学会が開かれ、農業関係者や県、市など約40人が参加しました。

同社では、2年前から県や市などの支援により飛騨市内の農業者と協力して、大手ふりかけメーカー向けの葉だいこんの試験栽培などを行い、今回その葉だいこんを加工する生産ラインが完成しました。

この生産ラインでは、2018年からは市内の農業者(農家16軒)が生産した「葉だいこん」年間300トンをを使って、大手ふりかけメーカー向けの「乾燥青菜」の本格生産が始まります。



生産ラインのスタートボタンに手を伸ばす関係者